



龍野高校では地域の生物多様の保全活動「生物多様性龍高プラン」に取り組んでいます。絶滅危惧種ムラサキの生息域外保全もそのひとつです。

自然科学部や授業「課題研究Ⅱ」田村班の生徒が、種まきや移植、除草をおこない、昨年より開花するようになりました。

栽培しているムラサキは2006年にたつの市新宮町で発見された株の子孫ですが、自生株はシカの食害のためか消失しムラサキは兵庫から野生絶滅しました。

龍野高校では、兵庫県内ではたつの市にしか自生していない水草ヒシモドキの調査研究もしており、ヒシモドキも絶滅寸前であることがわかりました。ヒシモドキの研究は、本校代表として昨年8月のSSH生徒研究発表会(全国大会)で発表しました。

昨年からの課題研究「赤とんぼ(アキアカネ)の保全」では、アキアカネのヤゴの飼育、および環境教育教材「アキアカネ飼育キット」の開発をめざしています。

令和2年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会

本年度は8月11日(火)に書面及び動画の一次審査があります。一次審査を通過すると8月17日(月)～18日(火)に二次審査があります。二次審査は書面及び動画に加え、質疑応答をオンラインで実施します。

最終審査は8月28日(金)オンラインで口頭発表します。

総合自然科学科3年生5人が『適材適所な風力発電を求めて～小規模発電～』のテーマで参加します。

龍野高校の代表として健闘することを願っています。

課題研究Ⅱ活動風景(一番左は zoom を使ったオンライン会議中)

